

# 品目紹介

※経営概要、収支は経営体によって個人差がありますので、参考としてご覧ください。

## ホオズキ(雨除け栽培)

大分県は全国一の生産量を誇るホオズキ産地です。通常のホオズキ栽培に加え、近年は量販店向け需要の増加を受けて密植型の短茎ホオズキ栽培にも取り組んでいます。旧盆は名古屋、新盆は関東を中心に出荷されており、新規就農者を含めた若手生産者も多い品目です。

・収穫後から冬にかけては、グラジオラス、スイートピー等、他品目を栽培します。



作型	ホオズキ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
		土壌消毒			×		△	▲▲■	■				
		定植					摘芯	エスレル	収穫				
ホオズキ	グラジオラス (抑制)		◆	球根						x	定植	電照	収穫

## 経営概要

※就農5年目の目標規模

規模	労働力	資本設備	
		補助対象	補助対象外
25a	2人+臨時雇用 (収穫期)	ハウス、灌水施設等 (1,100~1,500万円程度)	耕耘機、動噴、トラクター、倉庫、トラック等 (200~300万円程度)

※補助率は品目等によって異なります。

## 収支

品目	収益(A)	費用(B)	農業所得(A-B)
ホオズキ(25a)	550万円	338万円	212万円
グラジオラス(20a)	330万円	250万円	80万円
計	880万円	588万円	292万円

※費用には減価償却費を含みます。

## 白ねぎ(露地栽培)

豊後高田市の農業生産額の4分の1を占める主要作物で、約380haの面積は西日本有数の産地です。砂質土壤の干拓地域を中心に周年栽培が行われています。1経営体あたりの経営規模が大きい土地利用型作物です。



## 作型

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
○ ○	x x							■ ■ ■			
播种		定植		x x x x				收穫			

※費用には減価償却費を含みます。

## 経営概要

※就農5年目の目標規模

規模	労働力	資本設備
200a	2人+臨時雇用	トラクター、トラック、土寄せ機、播種機、定植機、動噴、結束機、皮むき機、調整場、倉庫等(1,600万円程度)

## 収支

収益(A)	費用(B)	農業所得(A-B)
1,713万円	1,412万円	301万円